

質 問 書

※ この MS-WORD 文書のまま送付お願いいたします。(PDF 等のフォーマットへ変換しないでください)

2020 年 11 月 6 日

「ウガンダ国 ICT 産業振興・スタートアップエコシステム強化に関する情報収集・確認調査(QCBS)」

(公示日:2020 年 10 月 14 日/公示番号:20a00568)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	ビジネスマッチング実証調査 (案)p.19	「オフショア開発試行費用については日本・ウガンダ企業により負担を行う。」とありますが、対応する日本企業側では、英語の使える優秀な人材を管理者として充てねばならず、負担がかなり大きいです。 もし、日本企業側が、再委託費用を参加の条件としてきた場合には、それを認めて頂き、契約変更等を検討頂くことは可能でしょうか。	企画競争説明書では第3章5. (3)にビジネスマッチング実証調査の費用として品質管理等を念頭に置いて再委託費 500 万円の定額計上しています。当該業務については、コンサルタント業務従事者もしくは専門性のある外部団員に再委託することを想定していますが、受入日本企業側に再委託を行うことは可能です。 また、本パイロット事業についての検討を行った結果、再委託経費として500万円を超える費用が必要という結果になった場合、必要性・妥当性・予算確保可能性を踏まえつつ、契約変更による増額を認める可能性があります。
2	(6) スタートアップ企業支援プログラム(案)の検討及びパイロット事業の実施 p.20	パイロット事業とは、p.15 を読む限り、アクセラレーションプログラムと読み替えてよろしいでしょうか。 p.21～p.23 にパイロット事業という単語が入っておりませんので、念のため確認まで。	4. 調査内容(6)に記載の「パイロット事業」はご理解のとおりアクセラレーションプログラムです。

3	1. プロポーザルに記載されるべき事項 p.26	6)現地業務に必要な資機材 7)実施設計・施工監理体制(無償資金協力を想定した協力準備調査の場合) とございますが、本件業務で不要と考えた場合には、記載しなくてもよろしいでしょうか？ ※もちろん、検討の上必要となった場合には記載させていただきます。	6)については資機材の投入が不要と考えられる場合、記載不要です。 7)については、本業務が無償資金協力を想定した協力準備調査ではありませんので、記載不要です。
4	(4)以下の業務については、業務内容・量の確定・提案が困難であるため、以下に示す業務量で「報酬」を見積もってください(上記2(2)の1)に記載した業務量の目途の内数となります)。 p.30	こちらの「報酬」は別見積りではなく、「報酬」内で計上するのでしょうか？ もし、別見積りではないとすると、業務内容・量の確定・提案が困難な中で、報酬の単価の設定が困難ですが、どのように考えればよろしいでしょうか？	こちらは別見積りではありません。ここでは、受注者の業務従事者が本邦招へいの調整に費やす人月を各 0.5MM と想定しています。上記人月を招へい業務として配置・分担頂いた上で全体の報酬額に含めて頂けますと幸いです。なお、想定よりも業務負荷がかかる等の問題が発生した場合、契約変更による増額を認める場合があります。
10/28 回答済			
5	14 頁、第 2 章特記仕様書案 3. 調査実施の留意事項(5)支援プログラム(案)、パイロット事業の実施 2)ICT 企業支援プログラム(案)	ウガンダ企業 10 社を対象とする、とあるが、日本企業とビジネスマッチングを図る際には日本企業も 10 社程度の参加が必要ということか。または、日本企業 1 社に対しウガンダ企業複数社のマッチングも可能、という理解か。	多様な企業を巻き込むという観点からは、日本企業の参加はなるべく多い方が好ましいものの、日本側とウガンダ側の参加企業数をそろえることは必須ではありません。活動内容が適切であると判断されれば、日本企業 1 社とウガンダ企業複数社のマッチングも可能です。
6	23 頁、第 2 章特記仕様書案 4. 調査の内容(6)スタートアップ支援	23 頁上段の2つめ※の注意書きに「可能であれば、ポスターや看板等のオフラインでの宣伝を	オフラインでの宣伝費については脚注 17 の「プロモーションに係る再委託費」である 2,000 千円の

	プログラム 5) 広報	施すること。同宣伝については、現地のイベント運営会社や上記アクセラレーションプログラム運営会社等との委託契約を想定している」とあるが、これは 22 頁の注 17 に記載の定額計上 2,000 千円に含まれるという理解か。	定額計上に含まれます。
7	ビジネスコミュニケーション・品質管理パイロット事業（案） p. 20	ビジネスコミュニケーション・品質管理パイロット事業（案）について、航空券の手配、宿泊先の手配、空港ピックアップ等のロジは本件業務の受託企業が実施するのでしょうか？それとも受け入れ側の企業が担当することを想定していますでしょうか？	招へいに関するロジ業務は JICA が別途契約する委託先に発注します。本調査の受注者は上記委託先や各連携先、参加者と調整の上、招へいを実施することが期待されています。実施上の規定など、詳細は「コンサルタント等契約における研修・招へい実施ガイドライン(2017 年 6 月版)」を参照ください。
8	ビジネスコミュニケーション・品質管理パイロット事業（案） p. 20	ウガンダ企業の来訪者が、携帯電話のSIMカードなどを希望した場合、その通話費用は貴機構に請求できるのでしょうか？	コンサルタントの業務範囲については、「コンサルタント等契約における研修・招へい実施ガイドライン(2017 年 6 月版)」に記載のとおりを予定しております。本邦滞在中のホテルにおける私的利用を除いた国内電話使用料、インターネット接続料及びビジネスセンターにおけるコピー利用料等の雑費についても、1,000 円(税込)／人日を上限とし、招へいの委託先を通じて実費で JICA が負担します。他方で、移動中や用務先においても通信状況の確保が業務上必要と判断される場合は受注者が一般業務費から Wi-Fi ルーター等を手配して対応することを想定しています。
9	日本国内での出張に係る経費について p. 30	オフショア開発のニーズや可能性等について本邦企業等と打合せする場合、国内出張が発生することが想定されます。こうした費用に	業務従事者が打合せを行う際の日本国内出張に係る旅費は国内業務費(国内諸雑費)として本見積りに積算願います。

		<p>については、見積上、どのように計上すればよろしいでしょうか。</p> <p>本邦招聘に関連したヒアリングということで、「本邦招聘支援に係る直接経費」から支出できるものなのでしょうか。</p>																									
10	5. 報告書等 p. 23	各報告書について、製本の要否と種類（簡易製本または製本）について、ご教示ください。	インセプションレポートとプログレスレポートはそれぞれ簡易製本でご提出をお願い致します。ファイナルレポートは製本頂いた上で提出をお願いします。																								
11	<p>(4) 以下の業務については、業務内容・量の確定・提案が困難であるため、以下に示す業務量で「報酬」を見積もってください(上記2(2)の1)で記載した業務量の目途の内数となります)。p.30</p>	<p>本邦招聘に係る業務の人月について、ご回答頂きましたが、見積上の扱いを確認させて頂きたく存じます。</p> <p>以下のパターン A とパターン B のいずれで計上しておけばよろしいでしょうか？</p> <p><パターン A></p> <table border="0"> <tr> <td>① 業務主任者/ICT 産業振興/スタートアップ・エコシステム</td> <td>●人月+A 人月</td> </tr> <tr> <td>② アクセラレーション1/スタートアップ支援</td> <td>●人月+B 人月</td> </tr> <tr> <td>③ アクセラレーション2/スタートアップ投資</td> <td>●人月+C 人月</td> </tr> <tr> <td>④ ICT 人材育成1/ビジネスマッチング1</td> <td>●人月+D 人月</td> </tr> <tr> <td>⑤ ICT 人材育成2/ICT 産業分析</td> <td>●人月+E 人月</td> </tr> <tr> <td>⑥ ビジネスマッチング2/オフショア開発</td> <td>●人月+F 人月</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>47 人月</td> </tr> </table> <p>※A+B+C+D+E+F=0.5 人月+0.5 人月</p> <p><パターン B></p> <table border="0"> <tr> <td>① 業務主任者/ICT 産業振興/スタートアップ・エコシステム</td> <td>●人月</td> </tr> <tr> <td>② アクセラレーション1/スタートアップ支援</td> <td>●人月</td> </tr> <tr> <td>③ アクセラレーション2/スタートアップ投資</td> <td>●人月</td> </tr> <tr> <td>④ ICT 人材育成1/ビジネスマッチング1</td> <td>●人月</td> </tr> <tr> <td>⑤ ICT 人材育成2/ICT 産業分析</td> <td>●人月</td> </tr> </table>	① 業務主任者/ICT 産業振興/スタートアップ・エコシステム	●人月+A 人月	② アクセラレーション1/スタートアップ支援	●人月+B 人月	③ アクセラレーション2/スタートアップ投資	●人月+C 人月	④ ICT 人材育成1/ビジネスマッチング1	●人月+D 人月	⑤ ICT 人材育成2/ICT 産業分析	●人月+E 人月	⑥ ビジネスマッチング2/オフショア開発	●人月+F 人月	合計	47 人月	① 業務主任者/ICT 産業振興/スタートアップ・エコシステム	●人月	② アクセラレーション1/スタートアップ支援	●人月	③ アクセラレーション2/スタートアップ投資	●人月	④ ICT 人材育成1/ビジネスマッチング1	●人月	⑤ ICT 人材育成2/ICT 産業分析	●人月	<p>質問4で回答しましたとおり、本邦招聘に係る業務の人月については、全体の業務人月の内数になります。</p> <p>各招へい業務人月(0.5MM)をパターン A や B のように分けて記載いただく必要はなく、各業務従事者の業務人月に含めていただいて問題ありません。(0.5MM がどの業務従事者により対応されるのか確認はしません。)招へい業務専門の業務従事者を配置されるのかどうかについても、各社の提案次第です。</p>
① 業務主任者/ICT 産業振興/スタートアップ・エコシステム	●人月+A 人月																										
② アクセラレーション1/スタートアップ支援	●人月+B 人月																										
③ アクセラレーション2/スタートアップ投資	●人月+C 人月																										
④ ICT 人材育成1/ビジネスマッチング1	●人月+D 人月																										
⑤ ICT 人材育成2/ICT 産業分析	●人月+E 人月																										
⑥ ビジネスマッチング2/オフショア開発	●人月+F 人月																										
合計	47 人月																										
① 業務主任者/ICT 産業振興/スタートアップ・エコシステム	●人月																										
② アクセラレーション1/スタートアップ支援	●人月																										
③ アクセラレーション2/スタートアップ投資	●人月																										
④ ICT 人材育成1/ビジネスマッチング1	●人月																										
⑤ ICT 人材育成2/ICT 産業分析	●人月																										

		◎ ビジネスマッチング2 / オフショア開発 ●人月 ウガンダ ICT 企業の本邦招へい支援に係る業務 0.5 人月 スタートアップ企業の本邦招へい支援に係る業務 0.5 人月 合計 47 人月	
12	アクセレーションプログラムの実施 (案) P. 22	「活動内容」にプログラムの最後に投資家へのピッチイベントを開催し、優勝者に賞金を授与とありますが、これはアクセレーションプログラム再委託に含まれていると理解してよろしいでしょうか？	賞金については、企画競争説明書 22P のアクセレーションプログラムの実施 (案) の「費用負担」において「優秀者へ賞金等については、調査期間においてスポンサーを募り、同企業からの提供を想定する。」と記載しているとおおり、アクセレーションプログラムの再委託費には含まれておりませんが、「ピッチイベント開催」業務は、アクセレーションプログラム実施に係る再委託業務に含むことを想定していません。
13	P. 29 5.	旅費 (航空賃) については、最近の事例として、「アフリカ地域公共サービスのデジタル化にかかる情報収集・確認調査 (QCBS)」において、COVID-19 等の影響を鑑み航空運賃の想定を行うことは困難との判断から、旅費 (航空賃) はすべて「別見積もり」として見積書と別に見積り金額提示の指示があったが、今回も同様の対応は可能か。	現在、東京—エンテベ間の商用便は既に運行再開しており、旅費 (航空賃) の見積りは可能と考えていることから、別見積りとはいたしません。
11/4 回答済			
14	3. (7)ウガンダ側連携組織の選定の2)スタートアップエコシステムの観点: p.16	Project NINJAにおいて連携実績のある民間のアクセレーター、インキュベーターの具体的な連携先名を教えてください。可能でしょうか。	特定の企業／団体名の言及は難しいのですが、ウガンダでの Project NINJA に係るピッチイベントの結果や概要については JICA ウガンダ事務所の公式 Facebook ページ

			(https://www.facebook.com/jicauganda)をご参照ください。
15	4. (6)スタートアップ企業支援プログラム(案)の検討及びパイロット事業の実施 p.21	4)、注12、注18で投資家・事業会社のマッチングで本邦でのピッチを実施し、その招聘支援を定額計上するとありますが、注18では会場借上げ費用は見積りに含めるとあります。この借上げ費用はウガンダでのピッチイベントの会場借上げのみをさしているのでしょうか、もしくは本邦での借上げ費用も見積りに含める必要がありますでしょうか。	アクセラレーションプログラム実施の再委託費にはウガンダでのピッチイベント会場借上げ経費は含みますが本邦での経費は含まれません。このため、本邦での会場借上げ経費については「コンサルタント等契約における経理処理ガイドライン(QCBS方式対応版)2020年4月」で規定される8. 国内業務費(招へい費)の実施諸費(翻訳料、会場借上費、参考資料等作成費・購入費、機材借料損料、消耗品等購入費等)として見積りに計上ください。なお、コロナ禍の影響で本邦招へいが困難となった場合はオンラインで本邦とつないでイベントを開催する可能性があります。

以上